

トキ

Nipponia nippon (Temminck)

コウノトリ目トキ科

石川県カテゴリー 絶滅

国カテゴリー 野生絶滅

選定理由

1970年1月8日、穴水町で最後の1羽が人工増殖のため捕獲され、県内では絶滅となった。

形態

全長約77cm。大型の水鳥で、雌雄同色。全身は白っぽいが翼や尾羽は淡いピンク色。顔と足は赤い。嘴は湾曲し、黒く長い。後頭部は冠羽状となる。

国内分布

明治以前は全国に留鳥として普通だったが、明治期に激減し、1981年佐渡に残った最後の5羽が人工繁殖のため捕獲され、野生絶滅となった。

県内分布

1950年代まで輪島市洲衛や穴水町七海付近の山林でごく少数が繁殖していたが、徐々に数を減らし、1961年が最後の繁殖成功となった。季節的な移動が見られ、初夏から夏には眉丈山付近に移動し、秋から春にかけては輪島市、穴水町へもどる群が見られた。また積雪の多い時には餌場を求めて穴水湾沿岸に姿をあらわしていたようである。

生態

泥や水の中の小動物を食べたが、草地や田畑でわら束をひっくり返して昆虫類を食べることもあった。大木の樹上を囿にしていた。樹上に枝を組んで営巣。繁殖期以外は群を作ることが多かった。

生息地の条件

周囲に餌場となる湿地を持つ丘陵地。

生存の危機

銃猟による捕獲、生息地の開発、餌の農薬汚染。(A)

特記事項

国際保護鳥、国内希少野生動植物種、国指定特別天然記念物。



写真提供者: 石川県立歴史博物館

分布図はありません。